

# Kyokuryo Exchange Program

## 「旭陵留学生プログラム」 Newsletter

岐阜県立中津高等学校

同 窓 会

平成30年3月14日

Vol.6

先日本校を卒業した第12期生 小栗千奈さんより卒業にあたってのレポートと思い出の写真が届きましたので報告します。小栗さんはこの春から名古屋外国語大学世界共生学部で語学を中心に国際理解について学びます。

**□留学したからこそ得ることができたもの** 私が留学で得たものは英語力の成長はもちろん、一番大きいのは精神面での成長です。留学をしたことで、私は恐れずに自分の気持ちを伝えることができるようになり、強くなりまた。留学をする前の私は相手の気持ちを傷つけないようにと深く考え込んでしまい、自分の素直な気持ちを伝えられないことが多くありました。相手の話をよく聞くという部分は私の一つの長所でもありました。しかしそんな自分をどこかで変えたいという気持ちが胸の奥にずっとありました。そして、この高校でつかみ取った1年間の留学が私を変えるきっかけとなったのです。留学はとても楽しかったですが、正直に言えば辛く苦しいことのほうが



善光寺にて(2年次生遠足)



留学を目前に控えての1ショット

多かったです。まだ子供の自分が親、友達から離れて生活するというのは相当な覚悟が必要でした。でもこの状況があったからこそ、自分がどう行動するべきなのかを考えることができました。誰も知る人がいない地に行くことはとても怖かったです。しかし、その状況が私に積極的に自分から行動する大切さを教えてくれました。私の英語でカナダの人に通じるのかとても不安がありました。しかし、どんなにつたない英語でも話しかけて無視する人なんてだれ一人いません。そして、話しかければ返答が必ず返ってきます。その繰り返しが私に自信を与え、自分の気持ちを伝えることの大切さを教えて

くれました。留学に行ったからこそ私は自分自身を変えることができました。この経験と得たものは私の中で一生のものとなっています。**□大学でも留学します！！** 春から大学生となる私にはやりたいことがあります。それは留学です。この留学というのは大学の一つのプログラムで前半はホームステイして学校に通い、後半である場所で従業員として働くことができるものです。今の私は人と話すことがとても好きです。人と人の関りがどれほど大切か分かった今、色々な考えが飛び交う世界で自分の可能性に挑戦したいと思っています。自分自身を成長させ、より自分自身を好きになるためにこの留学に行きたい



大好きな吹奏楽部のメンバーと

と思っています。それには条件があり、TOEFL550以上が必要となります。私は2年次に留学に行きたいのでそのためには1年次にこのスコアに達する必要があります。だから今から留学の夢をつかむために努力します。私は強くなったといってもまだまだな部分がたくさんあります。だから色々な経験ができる今のうちにどんどん吸収して経験値を増やしていきたいです。私は将来の夢というものが明確ではありません。しかし、英語が好きで人と関わるのが好きだということに変わりはありません。だから自分の好きなものを伸ばして行って色々な経験をしたいです。



留学後は1年下の学年に入りましたが、みな暖かく受け入れてくれたおかげで、楽しく過ごすことができました。